

Courses 実習項目

[各教員の所属] 菅平 … 菅平高原実験所 井川 … 井川演習林
筑波 … 筑波キャンパス

陸域生態学公開実習
2026. 7/27 (月) ~ 7/31 (金) 〆切: 2026. 5/7 (木)
生き物の生態を知るための研究を実際に行ってみよう! 実習地に生息する生物 (昆虫類・フナ林・草原など) を対象として、自分たちで研究テーマを選び、仮説を立て、野外で実験や調査をし、結果を解析して考察するといった、研究の基礎を体験します。本実習の約1か月前から、テーマや研究方法などを事前に各グループで決め、内容を精査する演習 (基本はオンライン) を定期的に行ないます。
■ 担当教員: 横井 智之・廣田 充・増本 翔太 (筑波)
■ 実習予定地: ハケ岳



森林水文・砂防学実習
2026. 7/27 (月) ~ 7/31 (金) 〆切: 2026. 6/8 (月)
静岡県の大井川上流部 (主に筑波大学井川演習林) をフィールドとします。森林流域の自然環境を形成し、時に災害に繋がることのある水や土砂の移動プロセスについて、現地調査によって計測したデータの考察および流域環境の見学を通じて学びます。また、これらを通して流域環境のあり方や管理の課題について考察します。
■ 担当教員: 山川 陽祐 (井川)、内田 太郎・奈佐原 顕郎 (筑波)、大澤 光 (非常勤講師)
■ 実習予定地: 井川・筑波



動物分類学野外公開実習
2026. 7/27 (月) ~ 8/1 (土) 〆切: 2026. 6/8 (月)
動物界の約3/4の種類数を占める昆虫類は、地球上最も繁栄した分類群といわれます。その全32目中29目の実物を野外で採集して、形態的・分類学的特徴をじっくり観察できる日本に唯一無二の実習です (残りの3目を標本で観察できます!)。昆虫とは何か、なぜ昆虫の多様性が高いのか、それらの答えがここにあります。
■ 担当教員: 八畑 謙介・佐藤 幸恵・竹中 將起 (筑波)、藤田 麻里 (菅平)
■ 実習予定地: 菅平



土壌調査法実習
2026. 8/4 (火) ~ 8/6 (木) 〆切: 2026. 6/16 (火)
土壌の横顔を観察します! 土壌の断面を見ることによって、どのようにしてこの土壌が生成されたのか、生成環境はどのような環境なのか、生物との関係は? 土壌の種類って何? いろいろなかことがわかります。菅平高原の土壌は火山灰からできた土壌です。日本は火山国であるため、世界ではまれな土壌が広く分布しています。その日本独特な土壌の世界をのぞいてみませんか?
■ 担当教員: 浅野 真希 (筑波)、津田 吉晃 (菅平)
■ 実習予定地: 菅平



高原生態学実習
2026. 8/24 (月) ~ 8/28 (金) 〆切: 2026. 7/6 (月)
何万年も前から日本に広がっていた草原が、人間による自然攪乱の抑制と草原利用の放棄によって、いま全国規模で急速に減っています。しかし菅平高原には、日本人に古くから親しまれてきた秋の七草など貴重な動植物が豊かな草原に残されています。この草原で、太古から繰り広げられてきた植物と訪花昆虫の結びつき、人間と草原との結びつきを学びます。
■ 担当教員: 大橋 一晴・横井 智之 (筑波)
■ 実習予定地: 菅平



モデル生物多様性公開実習
2026. 8/24 (月) ~ 8/28 (金) 〆切: 2026. 7/6 (月)
現代の生物学研究は、酵母、変形菌、線虫、ハダニなどの「モデル生物」に支えられています。この実習では、それらの近縁種を野外で採集・観察し、モデル生物が本来どのような環境で生きているのかを学びます。あわせて、生物間のつながりや相互作用にも着目し、生物群集の一構成員としての姿にも理解を深めます。
■ 担当教員: 佐藤 幸恵 (筑波)、出川 洋介 (菅平)、神崎 菜摘 (非常勤講師)
■ 実習予定地: 筑波



菌類分類学野外公開実習
2026. 9/14 (月) ~ 9/18 (金) 〆切: 2026. 7/27 (月)
キノコ、カビ、コウボなど菌類の多様性、系統分類の基礎を習得します。菅平高原実験所内の森林、草原、渓流フィールドに出て、キノコ等の大型菌類を採集し、実験室に持ち帰り、顕微鏡観察により、それらの形態や構造を詳しく観察して理解を深めます。またフィールドで採集した土壌や水サンプルの粗培養を行い、微小菌類 (カビやコウボ) を検出し、分類培養技術についても学びます。
■ 担当教員: 出川 洋介 (菅平)、中山 剛 (筑波)
■ 実習予定地: 菅平



Laboratory and Field Studies in Land Biology
2027.22(Mon.) Feb -26(Fri.) Feb. Deadline 2026.23(Wed.) Dec.
Let's get a feel for the ways of nature during the snowy season. We can see the footprints left behind by animals and birds searching for food.
■ Instructor: Kensuke Yahata, Yukie Sato, Masaki Takenaka (Tsukuba), Mari Fujita (Sugadaira)
■ Scheduled Internship Location: SUGADAIRA



Professors

各分野に特化した教授陣が様々な実習・講義を担当します

Yousuke Degawa
出川 洋介 准教授
[菌類学・植物系統分類学]
菌類 (キノコ・カビ・コウボ) は、実に不思議で興味深い生物です。その多様性や自然史の解明に向けて、日夜研究に邁進しています。菌に興味のある方、大歓迎です!

Yukie Sato
佐藤 幸恵 准教授
[行動生態学・進化生態学]
生物を観察して生じる「なぜ」という気持ちも大事にしながら、皆さんと生態学の面白さを共有できればと思っています。

Yosuke Yamakawa
山川 陽祐 助教
[砂防学・森林水文学]
イメージだけで捉えられることが多い山・森・川の自然環境について、観測データを基に科学的に考えてみましょう。

Maki Asano
浅野 真希 助教
[土壌学・土壌成分分類学]
生命を育む土壌の世界をのぞいてみませんか? 世界的に、砂漠化などの土壌劣化が起こりつつある時代、土壌の保全について山岳フィールドの自然の中で考えてみませんか?

Tomoyuki Yokoi
横井 智之 助教
[昆虫生態学・保全生態学]
草場から森林まで幅広い場所で、昆虫をはじめとする生物がおりなす生きざまを一緒に観察し、調べてみませんか。生態学の面白さを感じてもらえたらと思います

Kazuharu Ohashi
大橋 一晴 講師
[植物進化生態学]
菅平高原でみられる多様な花と昆虫に親しむとともに、彼らの生態的あるいは進化的なむすびつきについて深く考える機会を提供します。

Kensuke Yahata
八畑 謙介 講師
[動物系統分類学]
夏には膨大な多様性をもつ節足動物、冬には雪の中に生きる野生の動物たちから、菅平高原の自然の中で一緒に学びましょう。

Field 山を学べる様々なフィールド

筑波大学 山岳科学センター
MOUNTAIN SCIENCE CENTER
UNIVERSITY OF TSUKUBA

- 菅平高原実験所 長野県・菅平高原
- ハケ岳演習林 長野県・ハケ岳
- 筑波実験林 茨城県・つくば
- 井川演習林 静岡県・井川 (南アルプス山麓)

[上記の他、連携大学、世界各国の大学・研究機関とのネットワークも充実しています]

菅平高原 実験所
山岳草原での実習
空から見た実験所

ハケ岳 演習林
育林施業の体験およびその技術取得の実習

井川 演習林
山岳渓流での水文調査

筑波 実験林
生物多様性の調査